

平成29年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

	予算科目	事業名
8	2款7項1目 開発費	寒河江ダム関係に要する経費

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 <small>町民ニーズ</small>	18	観光面のシンボルの一つとして大噴水を含む寒河江ダム周辺は重要であり、その必要性も高い。
2 妥当性 <small>町が行わなければならないか</small>	21	各施設の設置者として、さらに寒河江ダムを管理する国との連携を図る上でも、町が責任をもって事業を行わなければならない。
3 効率性 <small>事業手法の効率はよいか。コスト削減の余地はないか。</small>	5	各施設の老朽化に伴いランニングコストは上がっており、効率性は低い。また、水の文化館の活用に大きな問題があり、これを解決しないかぎり事業効率も絶対に上がらない。
4 成果 <small>目標の達成状況</small>	5	集客数という成果としては低い。前述の施設の老朽化や利活用の問題に加え、指定管理者側のコストカットにより施設内の来客対応も課題がある。いずれにしてもその対応の検討が遅すぎる。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	1 きわめて良好である 100点	49
	2 良好である 75～99点	
	3 おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	寒河江ダム及びその周辺施設は、水にこだわったまちづくりのシンボルの一つであり、必要性も妥当性も高いのに、思うような成果が出ていない。特に中核施設である水の文化館の利活用策を早急に進めなければ、ますます集客数は減るばかりである。
	2 現状のまま維持する	
	3 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
<ul style="list-style-type: none"> ・月山湖大噴水の高さが日本一であることを訪れた人がすぐに気づけるような看板を設置すべきだ。 ・寒河江ダム周辺全体の施設や資源を見直し、全体的な活用を国と連携して行うべきだ。 ・湖月山荘の解体時期を新たな艇庫ができてからとしているが、その艇庫を含む1000mコースの建設計画に進展が見られない。もはや2020年の東京五輪には間に合わないと思われるが、ホストタウンとなったモルドバ共和国の練習会場として実際に使われることをふまえ、早急に具体的な事業実施案を示してほしい。それができなければ代替案の早期検討が必要だ。 ・寒河江ダムと同じ最上川ダム統合管理事務所が管理する「長井ダム」で遊覧船試験運行が行われた。寒河江ダムでは実施できないのか。